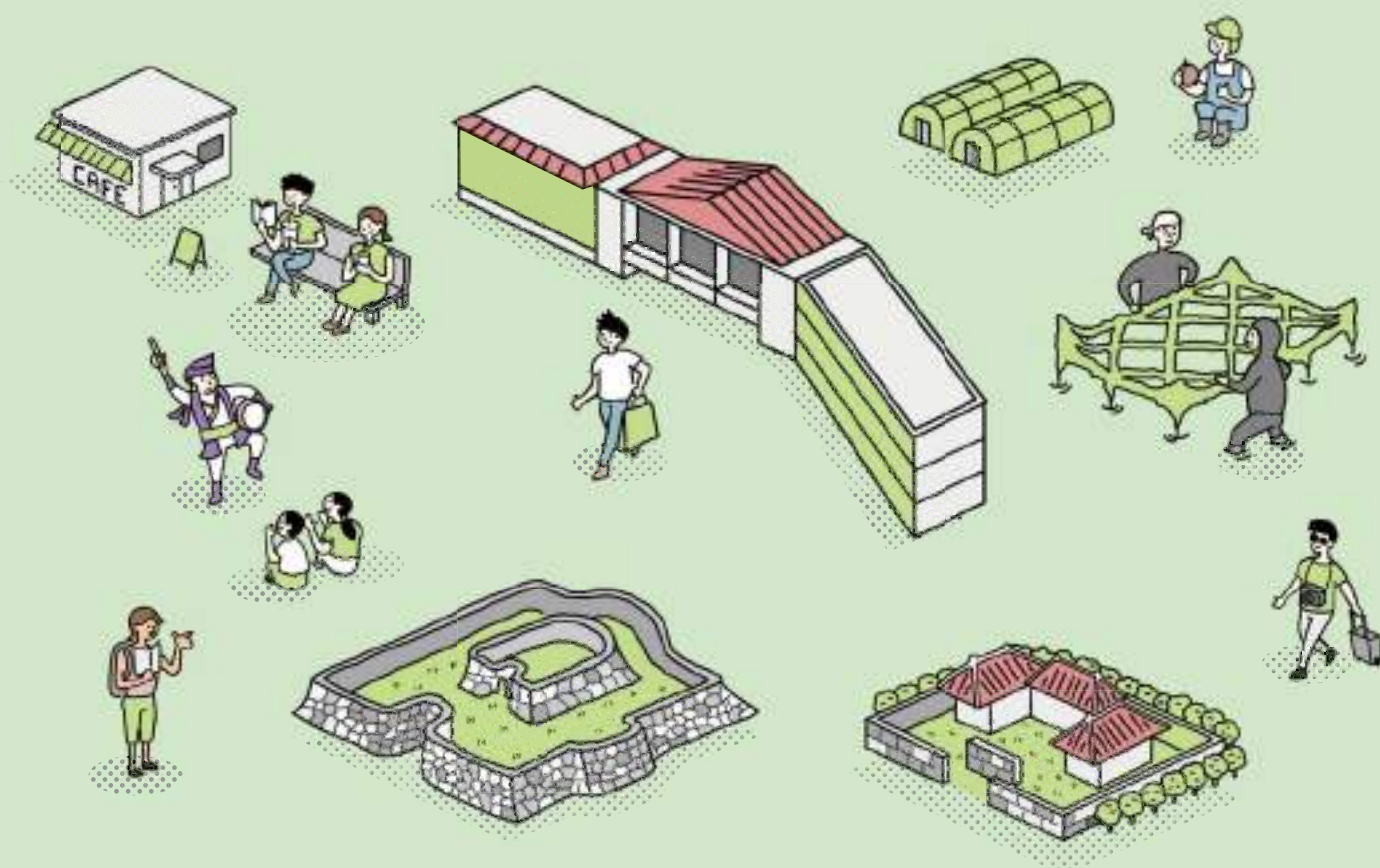
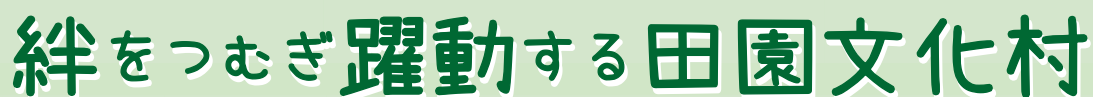


概要版

北中城村デジタル田園都市構想総合戦略



総合計画の役割

総合計画は、本村のまちづくり全ての基本となる計画です。

私たちが暮らしていくためには、教育・文化、福祉、産業振興、環境保全・社会基盤等、多様な分野の行政運営、あるいは村民と一体となって進めていくべきまちづくりがあります。これを、全体的に、かつ計画的に進めていくためのまちづくりの指針、施策を示したものが総合計画です。

また、この指針は、国や県、近隣市町村等、関係機関への働きかけの際に村の基本姿勢を示す役割を担うとともに、「北中城村デジタル田園都市構想総合戦略」と一体をなす計画として推進します。

デジタル田園都市構想総合戦略の役割

国では「デジタル田園都市国家構想基本方針」で定めた取組の方向性に沿って、令和 5 年度（2023 年度）から 9 年度（2027 年度）までの 5 カ年の新たな総合戦略を策定しました。そこでは、デジタル技術を活用しつつ、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる取組を進めていくことが求められています。

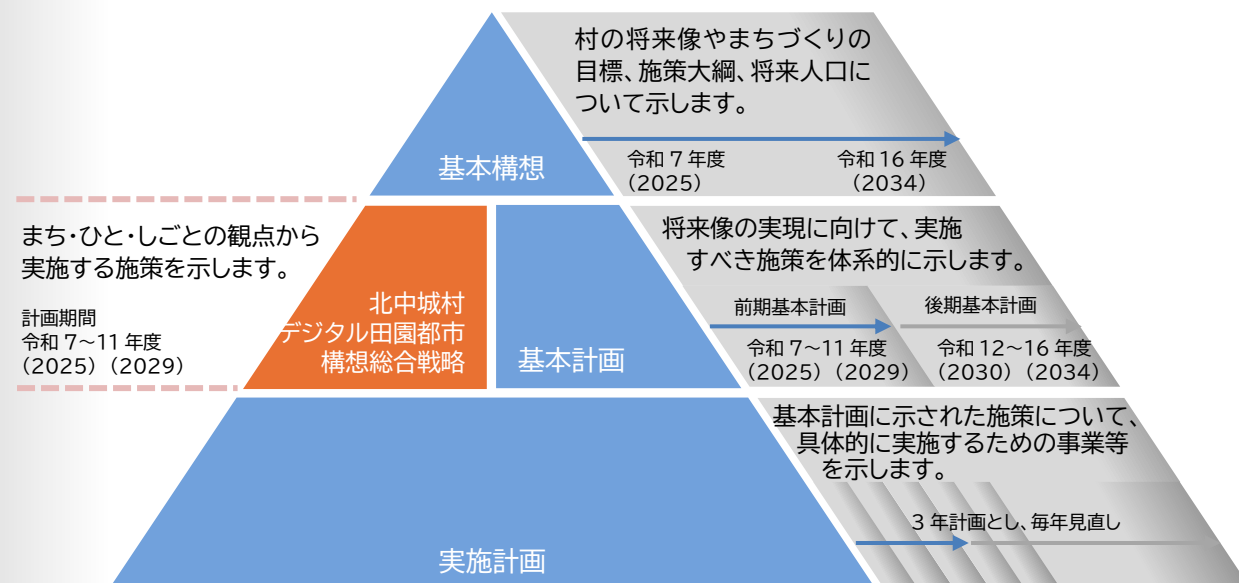
本村においても、国の総合戦略を勘案し、「北中城村第五次総合計画」とあわせて「北中城村デジタル田園都市構想総合戦略」を策定します。

第五次総合計画およびデジタル田園都市構想総合戦略の期間

北中城村第五次総合計画は、基本構想・基本計画で構成されています。

基本構想の期間については令和 7 年度（2025 年度）から令和 16 年度（2034 年度）までの 10 年間とします。前期基本計画は、基本構想の目標の実現に向けて、令和 7 年度（2025 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までとします。

北中城村デジタル田園都市構想総合戦略の期間については令和 7 年度（2025 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までの 5 年間とします。



1 将来像

北中城村第五次総合計画・基本構想における将来像を以下の通りとします。

絆をつむぎ躍動する田園文化村

「絆をつむぎ」に込める期待

こどもから高齢者まですべての世代が絆をつむぐ、時代とともに希薄化した絆を再びつむぐ、村民、企業、行政などまちづくりに関係する様々な主体が絆をつむぐ、年齢、性別、障がいの有無、宗教や信条などお互いの違いを認め合い絆をつむぐ、などの期待を込めました。

また、本村では第一次総合計画（昭和 52 年策定）から第四次総合計画において「平和」を将来像に盛り込んできました。人口 2 万人に満たない一地方自治体として、平和の構築に向けて何に取り組めるかを模索し議論した結果、絆には、お互いを理解し、尊重しあうこと、そして村民ひとりひとりが戦争体験や平和への思いをつむぎ、共有することが平和で安らかに暮らせる社会の実現につながるとの期待を込めました。

「躍動する」に込める期待

すべての村民が、生き活きと自分らしく暮らせることへの期待を込めました。

また、本村の農水産業や観光業が、デジタル技術の活用などによりさらに発展を遂げることを期待を込めました。

さらに、近年市街地化が目覚ましいライカム地区においては、本島中南部の広域交流拠点としての役割を担うとともに、同地区を中心に村内において人・モノ・情報の往来が促進され、村民と観光客が交流できる村になることへの期待も込めました。

「田園文化村」に込める期待

本村は、緑に恵まれた風光明媚な自然や、世界遺産中城城跡をはじめとした、優れた伝統文化、歴史文化資源を有しています。特に緑地は、生物多様性の確保や都市防災機能など、多面的機能を有しており、都市化が進んでいる沖縄本島中南部において、近年重要性が高まっています。

また、本村は約 100 万人の人口を有する沖縄本島中南部に属し、居住、交通、飲食、医療などの機能が一定程度充足しております。

よって、自然環境や歴史文化などの魅力を発揮し、安全・安心で暮らしやすく、都市の利便性と自然の豊かさを享受できる村となることを期待を込めました。

2

まちづくりの目標と大綱

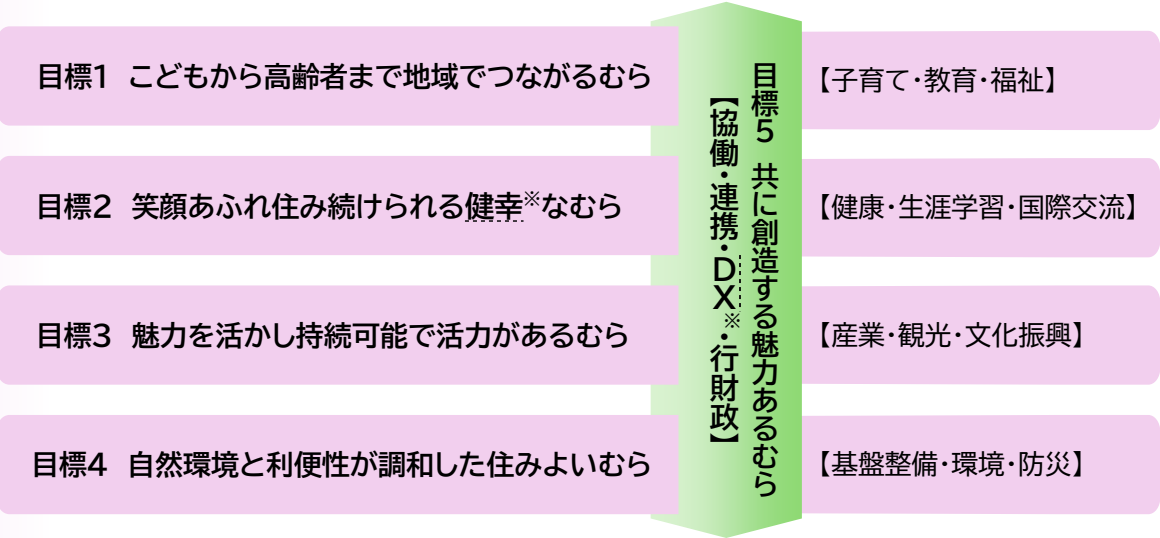
将来像“絆をつむぎ躍動する田園文化村”の実現に向けて、以下の通り、まちづくりの 5 つの目標を定めました。

5 つの目標のうち、4 つは、複数のまとまりのある分野別の目標として定め、残りの 1 つについては、すべてのまちづくりに通底する目標として、4 つの分野別目標と横断的・総合的に取組を進めるために定めます。

5つの目標

	目標	分野
分野別	目標1こどもから高齢者まで地域でつながるむら	子育て・教育・福祉
〃	目標2笑顔あふれ住み続けられる健康※なむら	健康・生涯学習・国際交流
〃	目標3魅力を活かし持続可能で活力があるむら	産業・観光・文化振興
〃	目標4自然環境と利便性が調和した住みよいむら	基盤整備・環境・防災
共通・横断	目標5共に創造する魅力あるむら	協働・連携・DX※・行財政

5つの目標の関係性イメージ



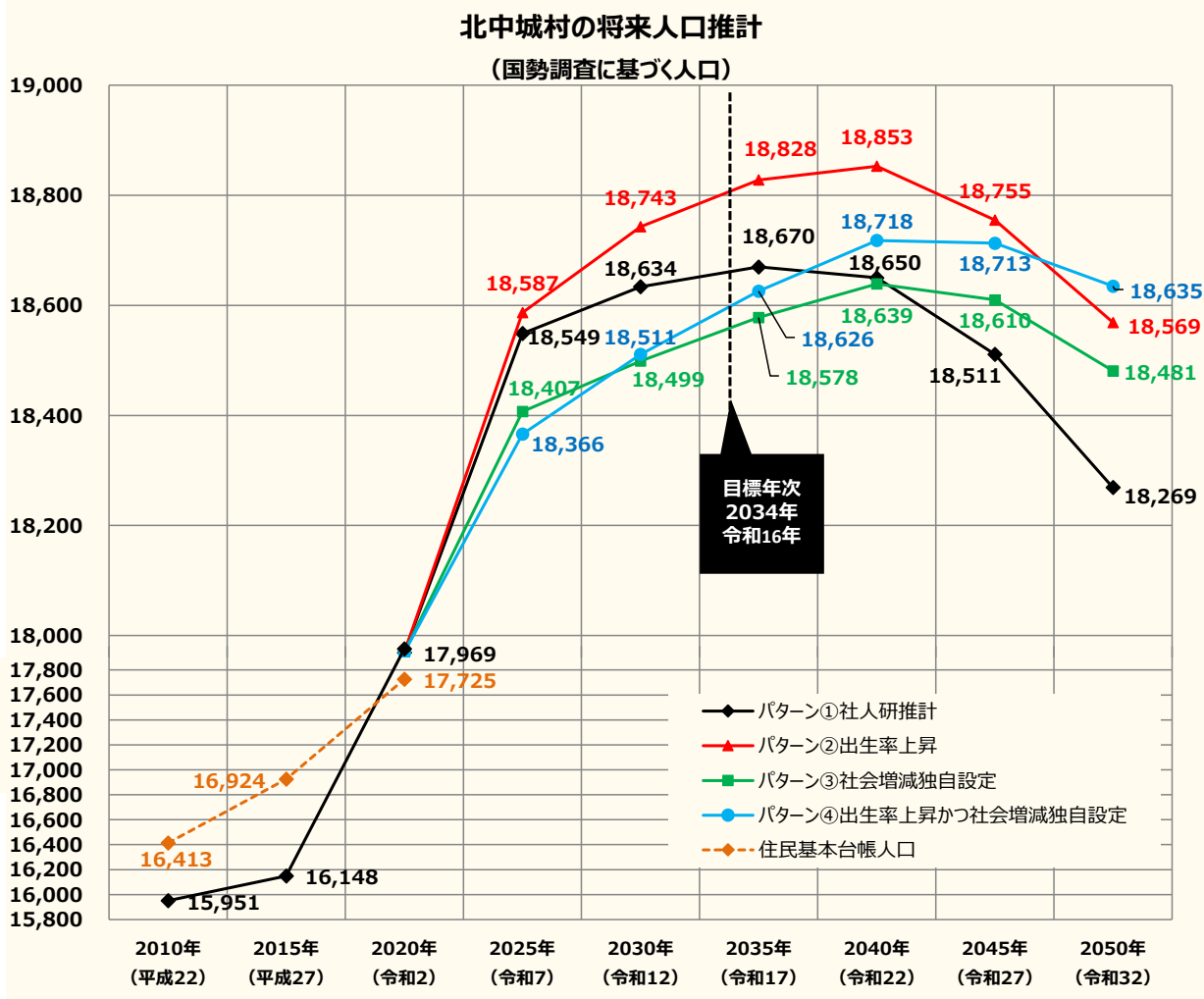
3

将来人口の目標
(北中城村人口ビジョン)

1. 人口の将来展望

推計パターン	設定
パターン①社人研推計	社会保障人口問題研究所推計（令和 5 年推計）
パターン②出生率上昇	パターン①を基調とし、出生率が 2030 年までに 1.88（注）まで改善する場合
パターン③社会増減独自設定	パターン①を基調とし、2020 年以降、若年層および子育て世代（20-44 歳）増減なしで推移する場合
パターン④出生率上昇 +社会増減独自設定	パターン①を基調とし、出生率が 2030 年までに 1.88（注）まで改善し、2020 年以降、若年層および子育て世代（20-44 歳）増減なしで推移する場合
【参考】住民基本台帳人口	（平成 22 年、平成 27 年、令和 2 年の各年 9 月末日実績値）

（注）沖縄県ゆめふしまづくり計画（令和 6 年 1 月）の人口の将来展望において採用された合計特殊出生率 1.88 と整合を図る。



2. 人口の目標

本計画の目標年次である令和 16 年度（2034 年度）時点における、将来人口の目標については、安定的な人口増に向けた結婚・出産・子育てに対する支援や、若年層の雇用の創出などを基本方向としつつ、**18,500 人**(※住民基本台帳人口)とします。

4

土地利用構想

本村は、那覇広域都市圏と中部広域都市圏の影響下にある一方で、中城湾に面し台地と海岸低地に分布する住宅地は、緑豊かで良好な住環境が形成され、変化に富んだ地形や御嶽がある緑地等を大切に、大幅な土地利用の改変を避け、都市郊外の田園地域として、ゆるやかな成長を維持してきました。

法的な規制の状況をみると市街化調整区域及び農用地区域により適正な土地利用の誘導がなされておりますが、子育て世代を中心とした人口増加基調にあるなかで、定住促進や産業振興における地域活性化へつなげることが難しい状況にあります。

ここでは、上記の状況を踏まえ、保全と開発の両立を図りながら、コンパクトなまちづくり[※]や、産業振興及び良好な居住環境づくりに資する村土の土地利用構想を示します。

1. 自然環境保全地域

自然環境保全地域は、丘陵地を中心に残っている緑地、港湾、海岸部をさし、水源涵養や土砂災害の防止、防風等の多様な機能を有するグリーンインフラ[※]であるとともに、北中城村の特徴ある景観を形成する骨格となる地域です。中城城跡や御嶽など歴史文化資源を包含し、村民の生活と密接な関わりを有することから、適正な保全・管理を図ります。また、土砂災害や津波浸水などの危険性がある箇所を有していることから、危険性が低い地域における居住を誘導する土地利用計画を策定するほか、新規開発などにおいては、無秩序な開発を抑制し、防災の観点も含めた総合的見地にたった調整指導を行います。

世界遺産である中城城跡周辺については、中城城跡を核とし、広域的な利用を促し県営中城公園整備と並行しながら新しい交流と歴史と文化のシンボル拠点をめざします。

2. 市街地形成地域

市街地形成地域は、都市計画法に基づく市街化区域内の宅地化が進行している地域で、適正な規制誘導と秩序ある土地利用により、良好でゆとりある住環境の形成を図ります。

また、「持続可能」の観点から、市街地における定住促進と利便性のさらなる向上を図るとともに、ライカム地区については、村内だけでなく広域的な利用を想定した、交流、医療福祉、防災、スポーツなどの拠点の形成をめざします。

3. 既存集落地域

既存集落地域は、都市計画法に基づく市街化調整区域内の集落で、周辺の自然環境や歴史文化資源との調和した地域として、居住環境の維持・改善を図ります。

また、地域に残る歴史文化資源の保全・活用を図りながら、特色のある地域づくりと落ち着いた住環境の形成をめざします。

4. 農地保全地域

農地保全地域は、農業振興地域内農用地区域[※]を指し、農地の保全と集約化、高度利用等により生産性を高めるとともに、多様な交流・体験の場としての多面的な活用をめざします。

5. 沿道活用地域

沿道活用地域は、本村における広域幹線道路となる国道 329 号、国道 330 号及び県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）を指し、国道 329 号、国道 330 号については、立地特性を活かし、商業・業務のサービス施設の立地など、日常生活の利便性向上に資する土地利用をめざします。

また、国道 329 号、国道 330 号と連結する重要な幹線道路である県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）については、道路拡張整備と合わせた沿道活用を検討します。

6. スポーツ・レクリエーション地域

スポーツ・レクリエーション地域は、沖縄こどもの国周辺（拡張計画地含む）、沖縄県総合運動公園周辺、しおさい公苑及びライカム地区の一部のエリアを指し、本村のスポーツ・レクリエーション等の核として、村民の憩いの場、生涯学習活動の場としての機能維持・向上を推進します。

7. 活用検討地域

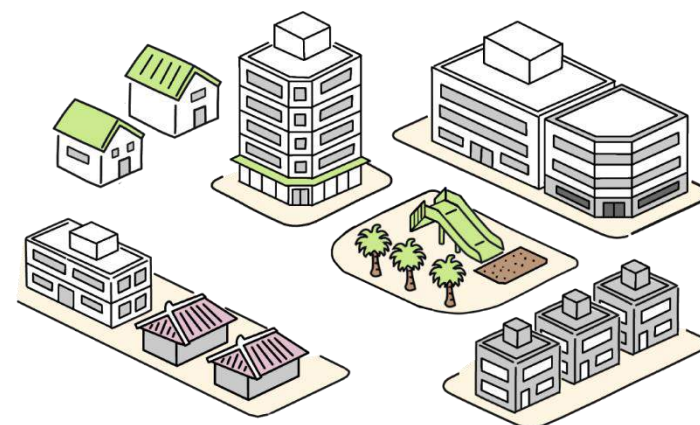
活用検討地域は、村の発展に資するよう新たな土地利用を検討する地域で、東海岸一帯や荻道・大城地区、サウスプラザ地区、返還予定地のキャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区・喜舎場住宅地区の一部を指します。

東海岸一帯と荻道・大城地区については、本村の発展や地域の魅力向上、利便性向上に資する土地利用をめざします。

また、既に返還されているサウスプラザ地区や返還予定のキャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区、喜舎場住宅地区の一部については、円滑な土地利用が行えるよう跡地利用計画の策定をすすめます。

8. 駐留軍用地地域

返還時期が未定の駐留軍用地については、国・県・地主会との連携を強化し、駐留軍用地の整理縮小及び返還の実現に向けた取組を継続するとともに、周辺の土地利用を踏まえて跡地の有効な利活用を検討します。



本村の将来像である「絆をつむぎ躍動する田園文化村」を実現するためには、まちづくりの諸施策を効率的、効果的に実施することが重要となります。

重点プロジェクトは、後述の第IV部前期基本計画の施策のうち、地方創生やデジタルトランスフォーメーション（DX※）の観点から重要となる施策を、まとまりのある分野として定めることで、前期基本計画を先導する役割を担います。

重点目標 1 誰もが安心して子育てできる環境をつくる				
数値目標 KGI	指標	数値を計測する資料	基準値	目標値 (令和11年度)
	①年少人口比率 (0～14歳)	住民基本台帳	16.5% (令和6年10月)	16.5%
	②子育て環境への 満足度	村民意向調査(注1)	29% (令和5年)	40%

重点目標 2 本村の特性を活かした魅力ある仕事をつくる				
数値目標 KGI	指標	数値を計測する資料	基準値	目標値 (令和11年度)
	①1人当たり 村民所得	市町村経済計算 (沖縄県市町村村民所得)	2,354千円 (令和3年)	2,700千円
	②観光・商工業振興 への満足度	村民意向調査(注1)	19% (令和5年)	25%

重点目標 3 人の流れとつながりをつくる				
数値目標 KGI	指標	数値を計測する資料	基準値	目標値 (令和11年度)
	①社会増 (5年間の延べ人数)	沖縄県人口移動 報告年報	573人(注2) (R1-5の5年間)	250人 (R7-11年の5年間)
	②公共交通利便性 への不満度	村民意向調査(注1)	36% (令和5年)	30%

重点目標 4 豊かな自然と利便性が調和した安全・安心で 持続可能な地域をつくる				
数値目標 KGI	指標	数値を計測する資料	基準値	目標値 (令和11年度)
	①総人口	住民基本台帳	17,960人 (令和6年10月末)	18,250人
	②村民の定住意向	村民意向調査(注1)	91.4% (令和5年)	91.4%

(注1) 村民意向調査は、PDCAサイクル※の一環として定期調査実施を予定する
(注2) ライカム地区での人口増が影響している

重点プロジェクト	
(1) 子育て支援の充実	① 多様な保育・幼児教育ニーズ対応
	② 安心して子育てできる環境づくり
	③ 次世代の健康づくりの推進
(2) 教育環境の充実	① ICT※を活用した学力向上
	② 学校施設等の充実
	③ 地域との連携
	④ 交通安全・防犯対策
(3) 青少年育成や生涯学習の充実	① 次世代をけん引する人材育成
	② 生涯学習の推進

重点プロジェクト	
(1) 観光・商工業振興	① 高付加価値観光とブランディング
(2) 農水産業振興	① 戦略的農業、持続可能な農業の確立
	② 水産業振興と持続的水産業の確立
	③ スマート水産業※の導入促進
(3) 雇用創出・就業支援	① 新規産業の誘致、ICT※の普及促進
	② 中小企業の基盤強化と就業支援

重点プロジェクト	
(1) 交流を促進する交通環境の形成	① 公共交通環境の整備と多様な交通手段の確保
(2) 交流人口・関係人口※の増加	① 広域観光と受入体制
	② 歴史文化資源の保全・整備・活用
	③ ライカム地区における広域拠点形成
	④ 地域交流、国際交流の推進
(3) 村民との協働のまちづくり	① 村民主体のまちづくりへの支援
	② まちづくりへの意識向上と参画機会拡充

重点プロジェクト	
(1) コンパクトで緑豊かなまちづくり	① コンパクトなまちづくり※と居住環境の維持改善
	② 跡地利用と基盤整備
	③ 自然環境・景観の保全と快適な公園環境の創出
(2) 脱炭素・環境共生の取組	① 効率的な水道事業の運営・維持
	② 公共下水道事業と生活排水対策
	③ 脱炭素・環境共生の取組
(3) 安全・安心なまちづくり	① 安全・安心なまちづくり
(4) 健幸※なまちづくり	① 働き盛り世代の健康づくりの推進
	② 高齢者の健康づくりの推進
	③ 健康維持増進に資する市街地環境の充実
(5) 効率的・効果的な行財政の確立	① 官民連携・広域連携
	② 自治体DX※の推進

IV 前期基本計画

【計画期間】

令和7年度（2025年）から令和11年度（2029年）の5年間

基本目標

1

【子育て・教育・福祉分野】こどもから高齢者まで地域でつながるむら

1-1 児童福祉・子育て支援の充実

(1) 子どもの貧困解消に向けた取組の推進	① 家庭内の課題を早期に把握し、適切な支援へつなげる仕組みの構築 ② 児童扶養手当や医療費助成等の支援、就労支援など総合的支援
(2) 多様な保育・幼児教育ニーズへの対応	① 相談支援を行うこども家庭センター [※] の設置及び利用促進 ② 延長保育、病児・病後児保育 [※] など子育てサービスの提供や環境整備 ③ こどもの発育や発達の遅れなど不安を抱える保護者への支援強化 ④ こどもたちの心身の調和的発達を促す幼児教育を推進
(3) 誰もが安心して子育てできる環境づくり	① 老朽化した児童館の建替え推進及び活動内容の充実 ② 放課後児童クラブの充実とこどもの健全育成の推進 ③ 医療費助成サービスの継続 ④ 給食費助成や食物アレルギー対応への支援など子育て世代の負担や不安低減 ⑤ 児童虐待の早期発見、早期対応

1-2 学校教育の充実と地域との連携

(1) 学力向上に向けた教育の充実	① 児童・生徒が自立した学習者として力が発揮できるような質的転換 ② デジタル教材を活用した個別最適な学びや協働的な学びの推進 ③ 教師の組織的で豊かな関わりによる、児童・生徒の学び・育ちの保障
(2) 生きる力を育む多様な教育の充実	① 違いを認め、命を大切に、思いやる豊かな感性を大切にする児童・生徒の育成 ② スポーツ活動機会の充実を通じた、健やかな心と体を育む教育の推進 ③ 全ての児童・生徒が共に学び、共に育み合う教育環境づくり ④ 実践的な英語教育の充実 ⑤ 探求する機会の設定やキャリア教育 [※] の充実 ⑥ ICT [※] 支援員の充実やデジタル教科書の活用等、GIGAスクール構想 [※] の推進
(3) 学校施設等の整備や労働環境等の改善	① 学校施設の適切な改修・整備 ② 校務のデジタル化等による、業務の効率化や働き方改革の推進
(4) 地域や関係機関等との連携・推進	① 社会に開かれた教育活動の推進、地域人材などを活用した取組の充実 ② 基本的な生活習慣の確立とともに、関係機関と連携した安全教育の推進 ③ 教育相談員等と連携し不登校児童・生徒等に対する相談体制の強化・充実

1-3 健全な青少年育成の推進

(1) 次世代のまちづくりを牽引する人材の育成	① 青少年が安心して活動できる居場所づくりへの支援 ② 子ども会によるジュニアリーダー [※] 育成や多様な交流と体験の機会の提供 ③ 豊かな心や地域への愛着、「自分にも何かができる」という有能感を育てる取組
(2) 地域との連携による健全な育成環境の形成	① 深夜徘徊等防止の見守り活動の他、非行防止や健全育成に関する活動推進 ② 広報誌・Webサイトなどを通じた、意識啓発や情報提供などの広報活動
(3) 困難を抱える青少年への支援	① 困難を抱える子ども・若者等の適切な支援へつなげる仕組みの構築 ② 経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者への支援等

1-4 高齢者福祉の充実

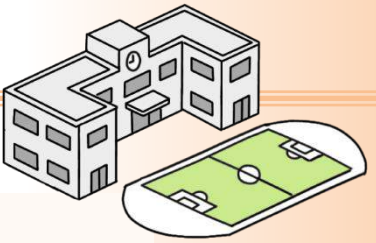
(1) 地域包括ケアシステム [※] の推進	① 地域包括ケアシステム [※] の構築 ② 地域で支え合える体制づくりの推進及び機能強化
(2) 介護予防、介護サービスの充実	① 年を重ねても元気でいきいきと活動できるような健康づくりの推進 ② 訪問型、通所型のほか、地域での互助を含めた生活支援サービスの充実
(3) 生活支援に関するサービス等の充実	① 配食サービスや外出支援など、生活支援に関する多様なサービスの充実 ② 認知症等の人を地域で見守り支え合える環境づくり ③ 総合的な相談機能の強化、成年後見制度の利用促進、高齢者の権利擁護 ④ 民間賃貸住宅等への円滑な入居に向けた相談支援
(4) 福祉に関わる人材の養成・確保	① 支援が必要な方へサービスが提供できる体制や地域における支援体制の充実 ② 介護に関する専門的な知識と技術を有する人材の養成や確保

1-5 障がい者(児)福祉の充実

(1) 地域生活移行支援の充実	① 地域生活支援拠点の整備や機能の充実、地域支援体制の構築 ② 地域住民の障がい理解等への取組、障がい者が不安なく地域移行できる取組 ③ 精神障がいにも対応した地域包括システムの構築
(2) 介護支援等の充実	① 居宅介護や、行動援護など、障がい特性に応じた介護サービスの充実 ② 障がいの早期発見や中途障がいを予防するための健康・保健活動の強化
(3) 就労支援の充実	① 自立訓練や就労支援の充実、事業者への指導体制強化 ② 障がい者雇用に対する理解促進、障がい者の就労継続や定着への取組 ③ 障がい特性に応じた学習機会や文化芸術・スポーツ活動機会の充実
(4) 居住支援等の充実	① 意思疎通支援や移動支援などの充実のほか、共同生活等の援助 ② 住宅改修支援、公共施設、道路、公園、公共交通機関におけるバリアフリー化
(5) 障がい児および家族支援の充実	① 障がい児の地域社会への参画に向けて、関係機関との協力体制の構築 ② 障がい児の支援サービスを実施する事業所の早期確保 ③ 医療的ケア児の学習環境等を確保するための体制強化 ④ 発達障害児やその家族への支援体制構築、トレーニングなどのプログラムの実施

1-6 人にやさしい環境づくり

(1) 誰もが不自由なく生活できる環境づくり	① 誰もが社会活動へ自由に参加できるよう「心のバリアフリー [※] 」の推進 ② ユニバーサルデザイン [※] の普及啓発の推進 ③ 困難や生きづらさを抱えるすべての人を対象とした支援体制の検討
(2) 社会的弱者への支援	① 心の健康づくりに関する情報や疾病予防策の普及啓発、相談支援の拡充 ② 精神疾患や精神障がい者に対する正しい理解促進、適切な情報の発信 ③ ハラスメントやDV [※] の防止への啓発など相談・支援体制の確立 ④ 生活保護制度や生活福祉資金貸付制度の周知、相談・支援体制の充実
(3) ジェンダー [※] 平等、性の多様性の理解促進	① 地域や社会全体における男女共同参画の推進 ② 多様な性のあり方に関する普及・啓発や相談体制の充実
(4) 支え合う仕組みづくりと人材確保	① 民生委員など人材確保、コミュニティ・ソーシャルワーカー [※] の育成、配置の検討



基本目標
2

【健康・生涯学習・国際交流分野】

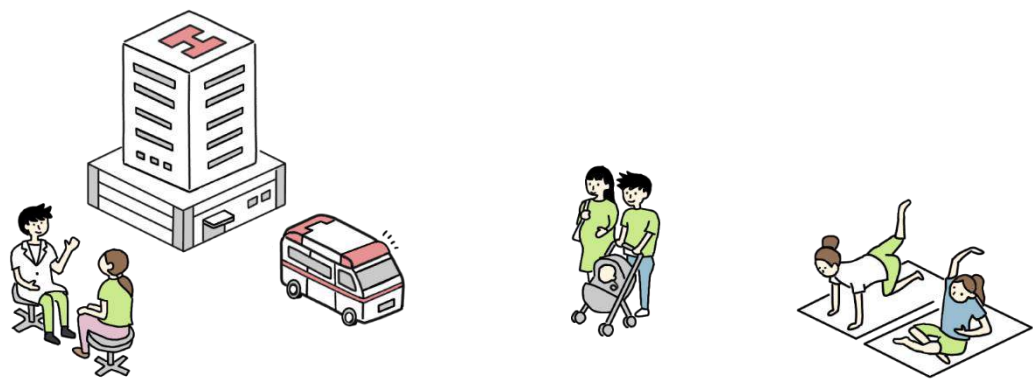
笑顔あふれ住み続けられる健幸なむら

2-1 地域保健の充実と健康増進

(1) 次世代の健康づくりの推進	① 保健指導、栄養指導の実施や、妊産婦健診、産後ケアなどの支援 ② 新生児の検査費助成や、乳幼児健診、歯科健診の実施 ③ 学校や保育施設などにおける食育の推進、健全な食習慣の確立
(2) 働き盛り世代の健康づくりの推進	① 健診や保健指導を通じた、働き盛り世代における生活習慣の改善 ② 民間企業との連携を図り、従業員の健康づくりへの普及啓発活動を促進 ③ 女性の健康維持や疾病の早期発見につなげる婦人科検診の実施
(3) 高齢者の健康づくりの推進	① 保健事業と介護事業が一体となった健康づくりの推進
(4) 健康維持増進に資する市街地環境の充実	① 公園やスポーツ・レクリエーション施設の充実、歩きやすい歩道の整備 ② 公共交通機関の活用促進
(5) 感染症対策の充実	① 予防接種の推進による、感染症の発生予防、まん延防止 ② あらゆる感染症の発生、拡大を想定した体制の充実

2-2 社会保障の持続的運営に向けた取組

(1) 保健事業を通じた健康維持	① 国民健康保険制度に関する周知、窓口相談の充実 ② 食育講座など良好な生活習慣や運動習慣に関する普及啓発 ③ 生活習慣病等の予防・早期発見・早期治療の促進 ④ 特定保健指導体制の充実、医療機関への受診勧奨等の実施
(2) 医療費の適正化や社会保障費の抑制	① 健康で元気に過ごすこと自体が社会貢献であることの普及啓発 ② レセプト点検※実施による、国民健康保険の適正な運用 ③ 健診、介護等に関する様々なデータを活用した、健康課題の解決 ④ 介護予防活動と健康相談などの一体的な実施 ⑤ 医療資源の効率的・効果的な活用に関する普及啓発
(3) 高齢者の社会参画と就労機会の充実	① 高齢者の社会参加の機会創出促進、交流の場づくり ② 高齢者が有する知識や経験を発揮できる就労支援の充実



2-3 生涯学習の推進と生きがいづくり

(1) 生涯学習活動を支える環境づくり	① キャリアアップ講座、課題解決型学習など創意工夫の実施 ② 各種団体等の技術および能力の向上、人材育成支援や交流活動の推進 ③ 地域・家庭・学校・行政で連携することによる、子どもの読書活動の充実 ④ 誰もがいつでも、どこでも学習に参加できる ICT※の活用による学習環境の整備
(2) 生涯学習施設の充実	① 中央公民館の維持修繕及び村民ニーズを踏まえた整備の在り方検討 ② あやかりの杜の利活用促進、生涯学習に資する新たな拠点施設整備の検討 ③ 身近な生涯学習の場として、自治公民館の利活用促進
(3) 「知の循環※」の取組	① コミュニティ・スクール推進による、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化 ② 人材育成や人材バンクの設置による、村民が主体的に学び活躍できる場づくり
(4) 生涯スポーツの推進	① 村民が気軽に運動できるよう、村民体育館の利活用促進 ② スポーツ・レクリエーションやニュースポーツ※の導入などを通じた、各種活動の普及 ③ 学校部活動の地域移行の推進、スポーツ推進計画の策定検討

2-4 国際交流の推進と平和の継承

(1) 国際交流の推進	① 海外の同世代との交流や短期留学など、国際感覚を有する人材の育成 ② 国際交流を実施している団体との連携強化 ③ 世界のウチナーンチュ大会等により多くの国の本村出身関係者との国際交流
(2) 平和の継承	① 戦争体験の記録や米軍統治下時代の公文書整理など調査の推進と活用 ② 学校など関係機関との連携による平和学習の機会の提供 ③ 平和活動の支援、平和思想の啓発・普及



IV 前期基本計画

【計画期間】
令和7年度（2025年）から令和11年度（2029年）の5年間

基本目標
3

【産業・観光・文化振興分野】
魅力を活かし持続可能で活力があるむら

3-1 観光・商工業の振興

(1) 高付加価値な観光まちづくりの推進	① 高付加価値な体験・滞在型の観光コンテンツの創出 ② 健康長寿をテーマとしたウェルネス*ツーリズムの推進
(2) 地域ブランディングと情報発信	① SNS*等の活用によるウェルネス*ブランドの情報発信 ② 交流機会の拡充と北中城村ならではのライフスタイルの発信 ③ 官民連携による村特産品の販売拡大の促進
(3) 広域観光推進	① 近隣市町村との連携による誘客や交流人口*の増加 ② 中部広域圏市町村と連携した中城湾港へのクルーズ船寄港の受入体制の検討 ③ MICE*施設が誘致される市町村との連携による、交流人口*の増加
(4) 受入体制の整備	① ユニバーサルツーリズム*の推進、観光危機管理計画の策定に向けた取組 ② 観光ガイドなど人材確保・育成や、教育旅行、企業研修の環境整備 ③ 移動手段の確保、駐車場対策、混雑の平準化対策などの推進 ④ 観光協会の機能強化に向けた取組の推進
(5) 持続可能な観光地づくり	① 持続可能な観光指標*の導入検討

3-2 農業の振興

(1) 戦略的農業の推進	① 戦略品目*の生産の普及を推進、新たな品目の普及に向けた取組検討 ② 有用微生物群の活用等による低農薬農業の普及促進 ③ 農産物加工品等の開発および販売普及支援、より効果的な支援の検討 ④ 地域ブランドを効果的に推奨するため、観光業との連携強化の検討
(2) 農を活かした健康・福祉の里づくり	① 体験型観光農園や滞在型市民農園の整備、福祉と農業の連携推進 ② 市民農園における「知の循環*」視点での活用を検討 ③ バイオガス発電*を活用した水耕栽培や食品加工等の施設の支援等
(3) 生産基盤の強化と生産性向上	① 灌漑施設整備の推進や農道の適正な維持管理、栽培施設の整備を促進 ② 農家の営農・経営指導の強化、市場ニーズに応じた生産・流通体制の構築
(4) 持続可能な農業の確立	① 地域の農業の将来像具体化による、持続可能な農業の確立 ② 優良農地の保全、農地中間管理事業*による、遊休農地の集積等 ③ 学校給食等への地域食材の供給維持、よりよい地産地消の検討

3-3 水産業の振興

(1) 水産業における高付加価値化とブランド化の推進	① アーサ（ヒトエグサ）の養殖場の適正管理により、安定的な漁獲量の確保 ② 北中城村の特色ある水産物をブランド化による、地域の魅力の発信 ③ 加工技術の導入による製品開発等、国内外の市場における競争力強化 ④ HACCP*に基づく衛生管理体制強化による安全・安心な水産物の提供
(2) 観光連携による水産業の活性化	① 水産業を観光資源として活用するため、漁業体験ツアー等の検討 ② 漁業関連施設等の整備補助や維持管理に努め、地場産品の消費拡大
(3) 新規漁業者の参入促進および地域漁業者ネットワークの構築	① 漁業を志す人々が安心してスタートできる環境の整備 ② 漁業技術向上や新規漁業者定着を支援し、地域全体での漁業の発展を図る ③ 漁業者同士の交流を促すため、情報共有の場の設立 ④ 漁業者と行政の連携による、地域の課題解決に向けた協議の実施

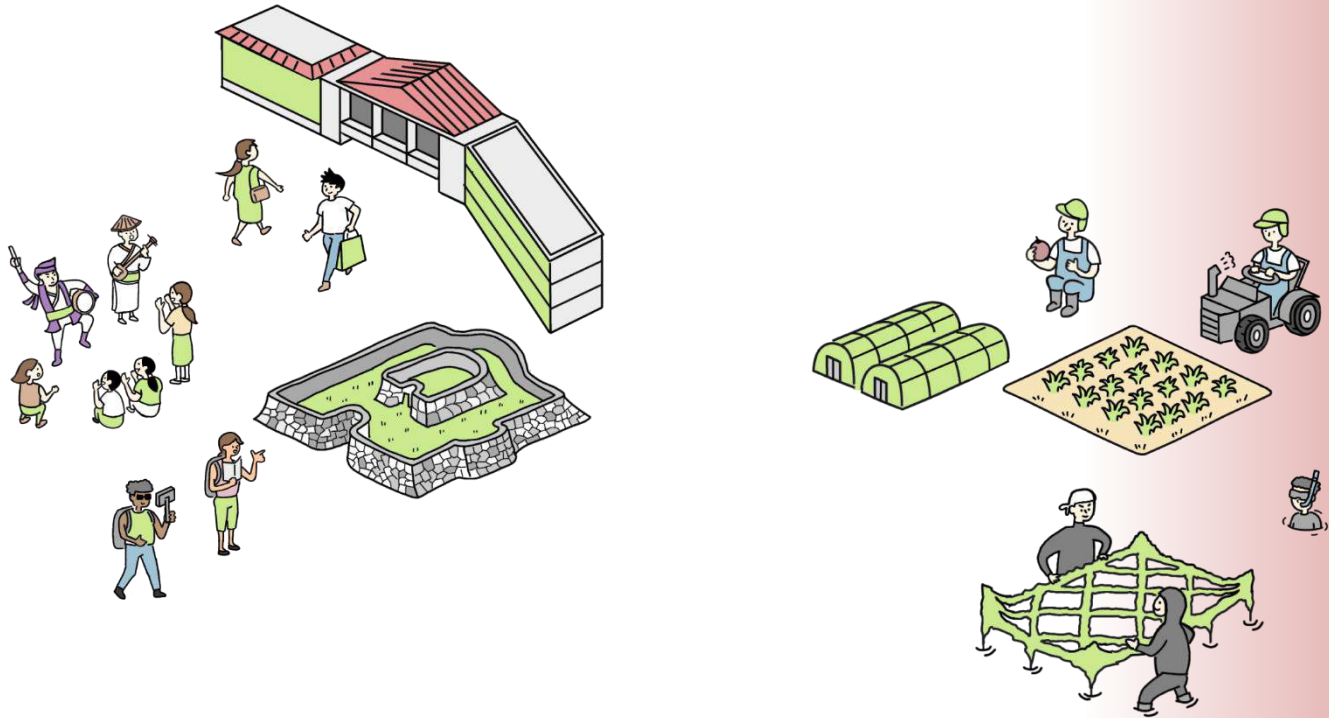
3-4 地域文化の振興と継承

(1) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	① 歴史的景観、及び市街地環境などの歴史的風致の維持・向上 ② 史跡等の周辺環境に配慮した囲い・制札・標柱・説明板等の整備 ③ 世界遺産中城城跡・県営中城公園等の一体的な活用 ④ 埋蔵文化財の適切な保護 ⑤ 戦争遺跡等に関する調査の実施や、歴史資源としての活用方策の検討
(2) 地域史の振興	① 本村の歩みを記録し次世代に継承する『北中城村史』の編纂の推進 ② 歴史資料の収集・保存、蓄積した史料の公開やレファレンスサービス*の充実
(3) 郷土の歴史学習活動の促進	① 児童生徒が郷土の歴史・文化を学べる機会の提供 ② 村の歴史を広くわかりやすく伝えるための情報発信と普及啓発
(4) 地域の文化活動や交流活動に対する支援	① 文化協会に対する支援や、伝統芸能等の後継者育成の促進 ② 姉妹町村*との交流学習や、交流プログラムの充実 ③ 既存施設の有効活用及び、文化活動の発表や伝統芸能の披露の場の提供



3-5 雇用の創出と就業支援

(1) 新規産業の誘致	① 駐留軍用地跡地利用計画において、新規産業の創出や誘致について検討
(2) 中小企業の基盤強化や就業支援	① 中小企業の経営改善に向けた指導や相談体制の充実 ② 就業支援相談体制強化、短時間労働ニーズの掘り起こしによる雇用機会の確保 ③ 村内企業におけるICT*の普及・利活用の促進



IV 前期基本計画

【計画期間】
令和7年度（2025年）から令和11年度（2029年）の5年間

基本目標
4

【基盤整備・環境・防災分野】 自然環境と利便性が調和した住みよいむら

4-1 秩序ある土地利用と村の発展に資する拠点形成

(1) 持続可能な土地利用の推進	① 保全と開発の両立を図る土地利用誘導策の具体的検討 ② 居住環境の維持改善による、人口密度の維持、定住促進 ③ 村内空き家の現状把握や今後の動向注視
(2) 跡地利用の推進、基盤整備等に向けた取組	① 返還予定のキャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用の推進 ② 喜舎場スマートインターチェンジ [※] の機能拡充等、村の発展に資する土地利用推進 ③ 既成市街地における浸水被害対応について、調整池や水路等の整備の推進 ④ 東海岸一帯については、本村の発展に資する土地利用のあり方について検討 ⑤ 農を活かした健康福祉の里づくりにおける基盤整備の推進
(3) ライカム地区における広域交流拠点の形成	① スポーツを通じた交流、地域文化の継承、防災などの機能を有する多目的交流施設（仮称）の整備に向けた取組

4-2 自然環境の保全・活用と景観形成

(1) 緑地の保全と花とみどり活動の推進	① 本村の緑の骨格を成す斜面緑地の保全 ② 集落・住宅地内の緑化・美化の促進、住民主体の緑化活動への支援
(2) 公園などオープンスペースの整備と維持管理	① 村内における公園配置状況などを勘案した公園整備の推進 ② 誰もが使いやすい公園に向けた、バリアフリー化 ③ 遊具の更新や園内の死角解消など安全・安心な公園づくり
(3) 良好な景観形成	① 歴史文化資源を活用した特色ある景観形成 ② 良好なまち並みの誘導及び景観地区の指定に向けた検討

4-3 暮らしを支え、交流を促進する交通環境の形成

(1) 公共交通環境の整備	① コミュニティバス [※] の導入に向けた取組の推進 ② 既存公共交通とコミュニティバス [※] の円滑な接続 ③ 公共施設や大規模商業施設など拠点における交通結節点の機能強化 ④ 公共交通の効率的、効果的な運行に向けた、関係機関との連携 ⑤ 公共交通サービスを支える担い手確保や住民の公共交通利用に関する意識醸成
(2) 多様な移動手段の確保	① シェアサイクル [※] など末端交通の導入に向けた検討
(3) 広域道路ネットワーク形成	① 喜舎場スマートインターチェンジ [※] の機能拡充に向けた取組の推進
(4) 生活道路の整備・維持管理	① 中城公園アクセス線、仲順屋宜原線など、道路交通ネットワークの形成 ② 老朽化した橋梁の改修推進及び生活道路の適正な維持修繕 ③ 地域住民と協働による、除草を含めた適正な維持管理の推進
(5) 安全・安心で快適な歩行空間の形成	① 沖縄県福祉のまちづくり条例に準じた道路整備やバリアフリー化を推進 ② 道路の愛称募集による、地域に親しまれる歩行者空間の形成
(6) 交通渋滞対策	① 利便性の高い公共交通の確保による自動車交通から公共交通への転換 ② 関係機関と連携し、体系的な道路ネットワーク形成による円滑な移動の確保

4-4 脱炭素・環境共生社会の実現

(1) 廃棄物対策の充実	① ごみ分別収集の徹底、廃棄物の抑制と資源化の推進に向けた普及啓発 ② 不法投棄への監視体制の充実や、モラル改善に向けた啓発 ③ 一般廃棄物中間処理施設 [※] 建設へ向けた取組の推進
(2) 資源循環やクリーンエネルギーの活用	① 村内から出る木枝などのチップ処理およびその利用の推進 ② 家庭への生ごみ処理容器など購入補助実施や制度の周知 ③ 公共施設等における環境に負荷の少ない再生可能エネルギーの導入 ④ 事業者と連携したバイオガス発電 [※] 、たい肥化への取組
(3) 環境共生に向けた取組	① 今後予定される駐留軍用地の跡地利用における自然環境の保全 ② 学校教育における環境学習の機会の提供支援 ③ 環境美化活動の推進、身近なエコ活動に向けた意識啓発

4-5 上下水道の整備・環境衛生の推進

(1) 水の安定供給と上水道事業の円滑な運営	① 既存施設における適正な維持管理、計画的な更新及び耐震化 ② 自家貯水槽の適正管理に関する啓発 ③ 給水区域における水質検査の継続実施
(2) 公共下水道整備の促進と生活排水対策	① 公共下水道への接続率向上に向けた取組の推進 ② 合併処理浄化槽設置への支援、適正な維持管理に関する普及啓発
(3) 環境衛生・動物愛護	① 村道での動物死骸の回収や野犬の確保など良好な環境衛生 ② 狂犬病予防接種の促進やペットの適正飼養などに関する普及啓発
(4) 墓地・火葬場への対応	① 墓地の適正な規制誘導や公営墓地の安定的な運営 ② 隣接市町村などと連携した広域火葬場の整備に向けた取組

4-6 地域防災力の向上

(1) 災害に強い環境整備	① 大規模自然災害等に備えた、事前防災・減災のまちづくり ② 避難場所、避難経路の整備、備蓄品の充実など、災害に強い環境整備 ③ 災害時における迅速な情報提供が行える環境の整備 ④ 災害時に発生する廃棄物対策として事前の備えや体制の確立
(2) 自助・共助・公助による地域防災力の向上	① 防災意識の普及啓発と、避難場所、避難ルートの認知徹底 ② 自主的な防災組織の立ち上げ推進、防災訓練、防災教育等の活動支援 ③ 災害時の迅速な情報提供や避難、救急活動などが行える体制づくり ④ 災害ボランティアセンター設置・運営に向けた支援体制の構築 ⑤ 医療機関や民間企業、他市町村・県等との広域連携に関する体制の整備
(3) 消防、救急体制の拡充	① 緊急通報システムの運用や各種救急講習会の実施

4-7 安全・安心な住環境の確保

(1) 交通安全対策	① 事故危険箇所などの把握、交通安全施設の整備、適切な維持管理 ② 飲酒運転根絶や交通ルール遵守など、交通安全の啓発活動 ③ 安全・安心な通学を確保するための、効率的・効果的なスクールバスの運行推進 ④ 通学路での見守り活動、交通安全週間の呼びかけ活動等の推進
(2) 防犯対策	① 市街地や集落を中心に防犯灯の整備、地域と連携し適正な維持管理 ② 防犯対策の普及啓発 ③ 犯罪をした者などの再犯を防止するための周知啓発及び支援

IV 前期基本計画

【計画期間】

令和 7 年度（2025 年）から令和 11 年度（2029 年）の 5 年間

基本目標
5

【協働・連携・DX・行財政分野】共に創造する魅力あるむら

5-1 村民と協働のまちづくりの推進

(1)	村民主体のまちづくりへの支援	① 様々な事業制度の情報提供など地域活動の支援 ② ライカム地区におけるコミュニティ組織の立ち上げ支援
(2)	まちづくりへの意識向上と参画機会の拡充	① 多様な手法を用いた、まちづくりに対する村民の興味喚起や意識向上 ② ワークショップやアンケートなど様々な手法による村民参画機会の拡充 ③ 自治公民館のコミュニティ醸成の場としての利用促進、適切な維持管理・改修

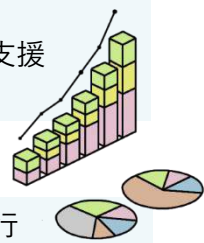


5-2 官民連携・広域連携の推進

(1)	官民連携の推進	① 事務事業について、民営化、指定管理者制度 [※] の導入などの検討 ② 公共施設の整備や維持管理、運営等について、民間活力の導入検討 ③ 関係機関と包括的な連携による、まちづくりの課題解決や行政サービスの向上
(2)	広域連携の推進	① 広域連合、一部事務組合などによる効率的・効果的な行政サービスの維持 ② 国や県、近隣市町村、関係機関との連携を推進

5-3 自治体 DX[※]の推進、産業 DX[※]の促進

(1)	自治体 DX [※] の推進	① 行政が保有する情報のオープンデータ [※] 化への継続した取組 ② ガバメントクラウド [※] への移行に向けた取組 ③ 広報きたなかぐすくの内容充実等、最新情報を提供できる体制づくり ④ 各種行政手続き等の利便性を高めるためのマイナンバーカードの普及促進 ⑤ オンライン手続きへの移行推進、ワンストップ窓口 [※] 等の実現について検討 ⑥ 業務の自動化や効率化を図るため、AI [※] や RPA [※] の導入について検討 ⑦ 自治体 DX [※] を推進するため、デジタル人材の確保、育成 ⑧ ICT [※] 等の技術を活用した、社会インフラの適切な維持管理
(2)	産業 DX [※] の促進	① デジタル化を支える人材の育成・確保に取り組む民間事業者支援 ② デジタル技術の活用による生産性向上等の取組を行う民間事業者支援 ③ 民間企業のテレワーク環境の整備など、多様な働き方の促進



5-4 効率的・効果的な行財政運営

(1)	効率的な行政の運営	① 各種交付金などの把握や制度研究による、施策の立案、適正な執行 ② 行政サービスの増減要因や今後の見通し把握による対策検討 ③ 公共施設等について、個別計画に基づき長寿命化など対策の推進 ④ 公共施設等について、必要に応じた統廃合などの推進による保有量の削減
(2)	計画的な財政の運営	① 財政指標公表・財政計画の策定による健全な財政と財政力の向上 ② 時代に即した納税環境の拡充と、村税徴収率の向上 ③ 財源の重点的で効率的な配分、事務事業の整理合理化等による適切な運営

5-5 社会情勢の変化に対応できる人材の育成

(1)	人材の確保	① 人材確保に係る環境変化を踏まえ、採用等に係る効果的な方策の検討 ② 専門知識を有する人材や、他業種経験者などの人材を確保する方策の検討
(2)	行政職員の育成	① 職員の能力・業績に基づく人事評価制度を活用した人材の適正配置 ② 能力開発の支援による職員の職務執行力・政策形成力の向上 ③ 社会情勢に伴いニーズが増加すると予想される職種の中長期的育成
(3)	社会情勢に対応する組織体制	① 社会情勢を的確に捉え、時代の要請に即した組織・機構の構築 ② 組織・機構の見直しに合わせて、適正な定員管理
(4)	働きやすい職場環境	① ワークライフバランス [※] の実現、あらゆる多様性を認めあう環境づくり



用語集

A～Z

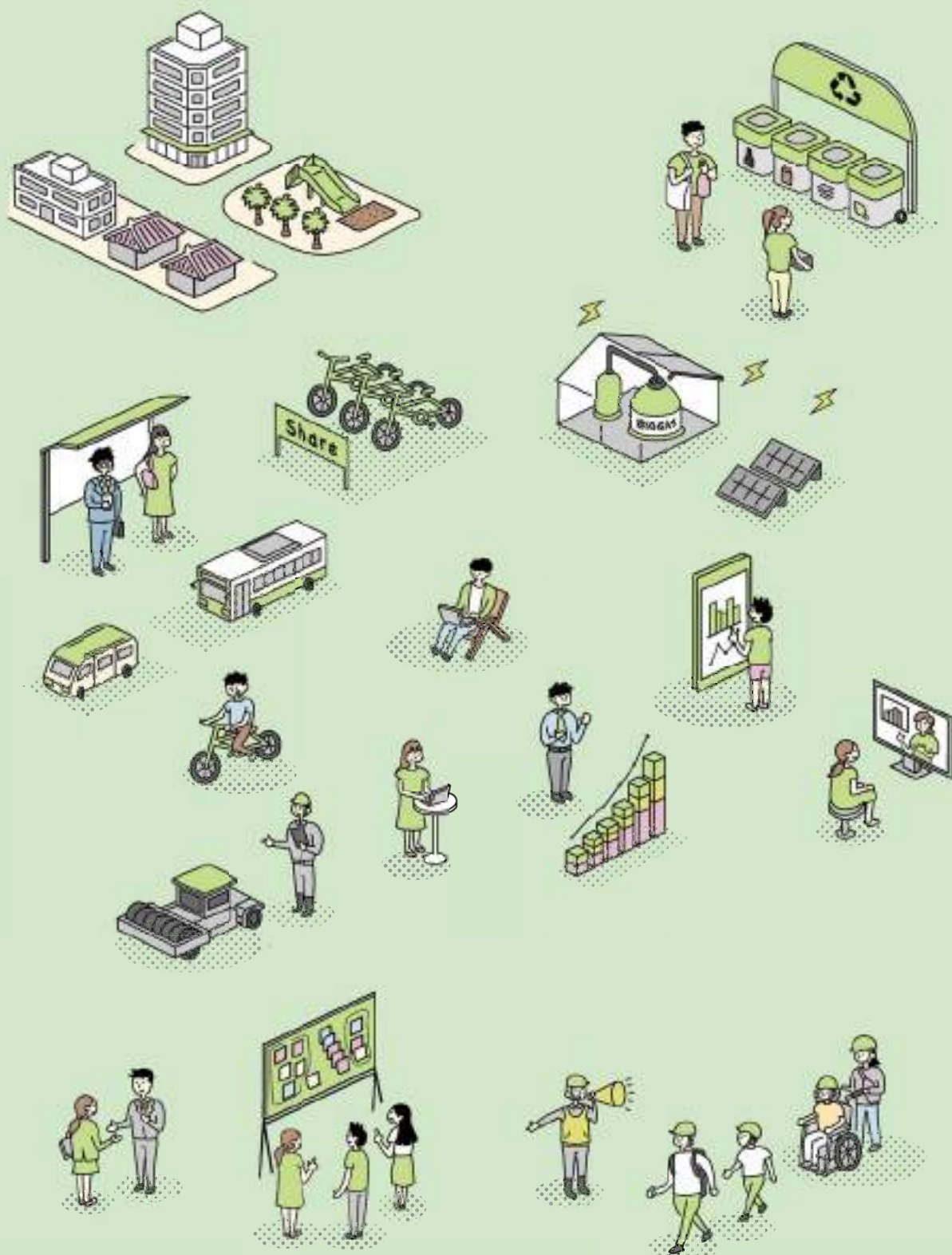
AI…人工知能（Artificial Intelligence）の略称。コンピュータの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになった。
DV…配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。
DX…直訳すると「デジタル変革」。デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。
GIGA スクール構想…教育 ICT 環境の充実を図り、教員や児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指す取組。
HACCP…Hazard Analysis and Critical Control Point の略で、食品の安全性を確保するための衛生管理手法のこと。
ICT … 情 報 通 信 技 術 (Information and Communication Technology)の略称で、PC やスマートフォンなど、様々な形状のコンピューターを使った情報処理や通信技術のことを指す。

あ～ん

インクルーシブ…さまざまな背景（障がいの有無や国籍、年齢、性別など）を持つあらゆる人が排除されないこと。
ウェルネス…自分自身の心身の健康はもとより、幸せの実現に向けて積極的に取り組む状態のこと。
オープンデータ…主に国や地方公共団体が公開している、誰もが利用可能なデータのこと。
ガバメントクラウド…政府共通のクラウドサービスの利用環境のこと。ガバメントクラウドを活用することで、迅速、柔軟、安全でコスト効率の高いシステムを構築とし、利便性の高いサービスの提供を目指す。
キャリア教育…一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。
グリーンインフラ…社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息地、景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能な国土づくりや地域づくりを進めるもの。
交流人口・関係人口…交流人口は観光等で一時的にその地域に訪れる人々のこと。関係人口は継続的または複数回訪れ、地域と多様に関わる人々のこと。
健幸…身体健康だけでなく、生きがいを持って幸せに生活できる状態のこと。
心のバリアフリー…高齢者、障がい者等の困難を自らの問題として認識することで、心のバリアを取り除き、施設整備（ハード面）以外の方で彼らの社会参加に積極的に協力すること。
こども家庭センター…すべての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う施設。母子保健機能と児童福祉機能を有する。
コミュニティバス…住民福祉の向上を図るため交通空白地域・不便地域の解消、高齢者等の外出促進、公共施設の利用促進を通じた「まち」の活性化等を目的として、地方自治体が運行するバスのこと。
コミュニティ・ソーシャルワーカー…地域の様々な困りごとの解決に向けて取組むとともに、住民やボランティア、福祉関係者等と協力しながら誰もが安心して暮らせる、つながりのある地域づくりを進める役割の者のこと。
コンパクトなまちづくり…人口減少・高齢化が進む現代において、出来る限り生活機能の集約化を進めるとともに、公共交通などの利便性を高め、すべての人が安心して暮らせるようまちづくりを進めること。
シェアサイクル…他人と自転車シェア（共有）して、必要な時に、必要な時間、必要な場所まで利用する仕組みであり、新たな公共交通手段の 1 つとして位置づけられる。
ジェンダー…男女の生き方、役割、特性などに関して、「こうあるべきだ」と社会のなかで共有されている考え方や価値観、また、それらと関連してつくりだされた社会制度等における性のあり方。
持続可能な観光指標…「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現するために観光庁が開発した国際基準に準拠した「日本版持続可能な観光ガイドライン（Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations, JSTS-D）」のこと。
指定管理者制度…都道府県や市町村が設置した公の施設（公園、体育館、博物館など）の管理を、その施設の設置者が指定するものに行わせることができる制度。

MICE…企業等の会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらビジネスイベントの総称。
PDCA サイクル…Plan（計画）、Do（実行）、Check（測定・評価）、Action（対策・改善）の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念。
RPA(ロボティックプロセスオートメーション)…これまで人間が対応していた作業、もしくはより高度な作業を、AI、機械学習等を含む認知技術を活用して代行・代替する取組。
SNS…Social Networking Service の略で、Web 上で社会的ネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築可能にするサービスのこと。

姉妹町村…文化交流や親善を目的とした地方自治体同士の関係を指し、友好都市や親善都市とも呼ばれる。本村は平成元年（1989 年）に岩手県葛巻町と盟約を締結している。
ジュニアリーダー…青少年ボランティア活動の一環として教育委員会の支援を受けて活動している、中学生・高校生のこと。
スマートインターチェンジ…高速道路の本線やサービスエリア等に設置され、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETC を搭載した車両に限定しているインターチェンジのこと。
戦略品目…農林水産物の市場競争力の強化により生産拡大及び付加価値を高めることが期待できる品目。本村の戦略品目は、アーサ（令和 4 年時点）。
地域包括ケアシステム…要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のこと。
知の循環…各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった考え方。
中間処理施設…廃棄物の収集運搬や分別後に破砕、圧縮、焼却、脱水等によって減容するリサイクルや最終処分の前工程を行う施設。
ニュースポーツ…初心者や運動が苦手な人でも、いつでも、どこでも楽しく簡単にできるスポーツのこと。
農地中間管理事業…農地中間管理機構が農地の所有者から農地を借受け、必要場合は基盤整備等の条件整備を実施した上で、認定農業者等担い手がまとまりのある形で農地を利用できるように配慮して貸付けする事業のこと。
農業振興地域内農用地区域…農業を推進することが必要と定められた農業振興地域の中で、集团的に存在する農用地や、土地改良事業の施行にかかる区域内の土地などの生産性の高い農地等、農業上の利用を確保すべき土地として指定された土地のこと。
バイオガス発電…食品廃棄物、汚泥、家畜糞尿等の湿分の高い原料から発生させたバイオガスを燃料に使用している発電のこと。
病児・病後児保育…「病児保育」は、病気のこどもを預かる保育サービスで、「病後児保育」は、病気からの回復途中のこどもを預かる保育サービスのこと。
ユニバーサルツーリズム…高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行を指す。
ユニバーサルデザイン…障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。
レセプト点検…医療機関が健康保険組合や市町村などに医療費を請求するために、病名や診療行為、処方された薬剤名などが記載された診療報酬明細書のことをレセプトといい、これを保険者が審査することを言う。
レファレンスサービス…図書館の資料等を使って、調べもの、探しもののお手伝いをするサービスのこと。
ワークライフバランス…仕事と生活の調和を指す。やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会を目指す取組。
ワンストップ窓口…自治体での各種手続きにおける窓口 1 つに集約し、ワンストップで手続きを完結する取組。



北中城村第五次総合計画
基本構想 / 前期基本計画
北中城村デジタル田園都市構想総合戦略

発行年月 令和7年3月
発行者 北中城村役場 企画振興課
北中城村字喜舎場426-2
TEL 098-935-2233
編集協力 株式会社 国 建